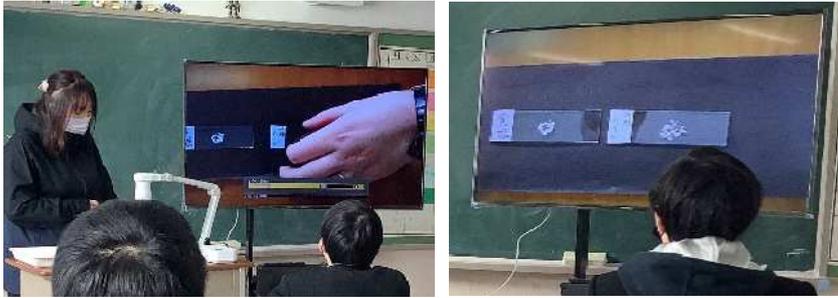


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

結晶の形の違いを比較するための ICT 活用 「実物投影機による結晶の拡大提示」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 中学部 1年（通常学級）
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校時代に不登校を経験している生徒が多く学習空白がある。 ・観察や実験には興味・関心をもち、意欲的に取り組むことができるが、結果を分析し、考察することが苦手であり、科学的な概念や原理、仕組みについて理解することが難しいときがある。
授業について （教材・教具を使用した授業や指導場面）	教科名等	理科
	単元(題材)名	題材名「水溶液の性質」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・物質が水にとけるようすの観察や水にとけた物質を取り出す実験を通して、濃度や溶解度、再結晶など水溶液の性質について理解する。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> ・結晶が残ったスライドガラスを実物投影機で拡大して提示する。 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水を蒸発させたスライドガラスをモニターに拡大して提示することで、教材を全体で共有できるようにする。 ○複数の水溶液から取り出した結晶の違いに気付くことができるようにする。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食塩と硝酸カリウムの結晶を同時に提示することで、結晶の形を比較することができるようにした。 ・スライドガラスの向きを変えたり、実物投影機の倍率を変えたりすることで、見たい部分を観察できるようにした。 ・スライドガラスの背景を黒にして結晶を見やすくした。
	材料・作成方法等	実物投影機、モニター
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・スライドガラスを拡大してモニターに映し出すことで、全体で教材を共有することができ、学習意欲や集中力を高めることができた。 ・結晶を拡大して映し出すことで、注目する部分を明確にすることができ、形の違いなど気付いたことを発表しながら考察をすることができた。 ・倍率や明るさを調整することで、注目する部分を見やすく提示することができ、食塩と硝酸カリウムの結晶の特徴を理解することができた。